

今日はね。

vol.2

漫画  
です。

エ  
ツ  
セイ

これ  
は



# 植物園に行ってきた

基本お家大好き  
こもりがちな  
私ですが

先日何を  
思い立ったのか  
急に植物園に  
くり出しました

そうだ  
植物園に  
行こう！



電車でちよつと  
バスに20分  
ほど揺られて  
到着です



なぜか無意味に  
気合いを入れた  
服装がすでに  
ここでミスマッチ



でもそんなの  
気にしません  
だってここは  
植物園♪

人間の常識なんて  
常識なんて  
ものな！

園内は縦に広くて  
私の目的の  
植物園のコーナー  
間では木々の間を  
歩かなくては  
なりませんでした



そんな時  
罨が発動。



親方あ！  
空から  
枝が降って  
きたあ！

あはは  
超  
怖かった



# 植物園に行ってきた2

私がまず  
目指したのは  
バラが咲いている  
所でした

ここ数日の  
天気で開花が  
一気に進んだ  
とのこと

まずは  
お目当ての  
バラを攻略  
ですよ!



着くと  
そこはまさに  
バラが満開の  
状態でした

近づいて  
いた時から  
薄々気づいては  
いましたが...

超いい匂い!



目にはもちろん  
華やかですが  
始終むせそうな  
香りがしてて

なんて言うか...

ドキドキ  
しました!

ばた ばた



しかし  
ビックリしたのは  
お花のサイズです!

カタログなどで  
「大輪」なんて  
言葉を目に  
することは  
ありましたが

実際見ると  
「こんなにか？」  
という迫力  
でしたよ!





# 植物園に行ってきた3

バラを見た後は園内を散策

すると観葉植物の温室を発見

もちろん直行です！



観賞植物とあわせて熱帯形の植物もあり

大変素敵な空間でした



植物ももちろん素敵でしたがガラス張りの温室という空間が個人的になかなかヒットでした

ここでもバシバシ写真撮影をいたしました



温室を見た後はさすがに体力が持たずにダウン

ベンチで缶コーヒーを飲みながらまったりしました

その後は植物園内で道に迷い翌日筋肉痛になりました







# 苦手なこと。

自分で言うのも  
なんですが…

私はおしやれが  
本当に下手です



オニヤク雑誌は  
結構暗い。  
アイラインって  
目…まっか…  
何…描くの？

十代の頃から  
すでに女子を  
サボっていたので  
ちよつとや  
そつとで  
何とかなる  
レベルでは  
ありません

あかみ

とは言つても  
年相応に  
化粧もしなくては  
いけませんし  
服にも多少なり  
好みはあります

化粧は  
「言葉  
どうかと思う」  
「言葉  
どうかと思う」  
「言葉  
どうかと思う」



なので最近  
はポジティブに  
いろいろ  
着てみます

それでも  
やつぱり  
なかなか  
ハードルは  
高いです

はきなれない靴  
がんばってはいたら  
足痛くなる  
靴底がうすくて固い。



いわけが  
ない。今までの  
ツケが一気に  
きます

結果  
はりきり  
過ぎると…

あ。  
じんましん  
出てきた…



アイツカドウで  
手をうとう。  
アイライン  
ひこうとした。

体が  
おしやれを  
拒絶。



**コレで満足です。**

今私のなかではお菓子買い食い禁止令が出ています

基本自分でお菓子を買つてはいけません

※頂いたものは食べてよい。



とは言ってもいき過ぎは精神的によろしくないので

自分で作ればいくらでも食べていいことにしています

しかし私はお菓子作りとかよつぽどじゃないと面倒なのでしません

結果 簡単おやつにはしりました



そして出来たのが皮スナック!

市販の餃子やシユウマイの皮をフライパンで焼いたもの!



ちよつとの油で十分にこんがり焼けて

その時の気分で塩をふつたりシロップをかけたりとかなり味は選べます

切って焼くだけ。

簡単に出来て香ばしいのが気に入って

ついつい食べていた結果...

ひき肉 ニンニク ニラ... どうしよう... また皮買ってこなきゃ...

**餃子の具が冷蔵庫に取り残される事態が多発。**

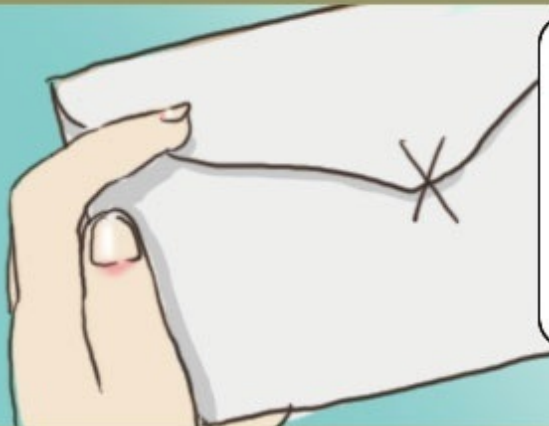




# もしもの

# 手紙。

以前ちよつと機会があつて自分が死ぬことを仮定して誰かに向けての手紙を書こうとしましたがありました



実際には私は全く死ぬつもりはなかつたのですが

ツクしくとも

生きる。

慣けなしんも  
みじめども。

「誰に」「どんな手紙」をと考えたときに浮かんだ宛先はお母さんでした

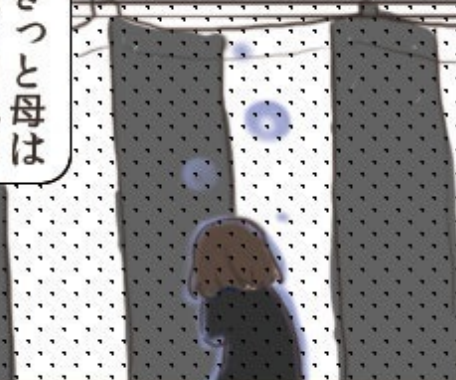


この時私の想像力はすこぶる調子がよく

容易に自分の死や私の死後の周囲の様子を浮かばせました

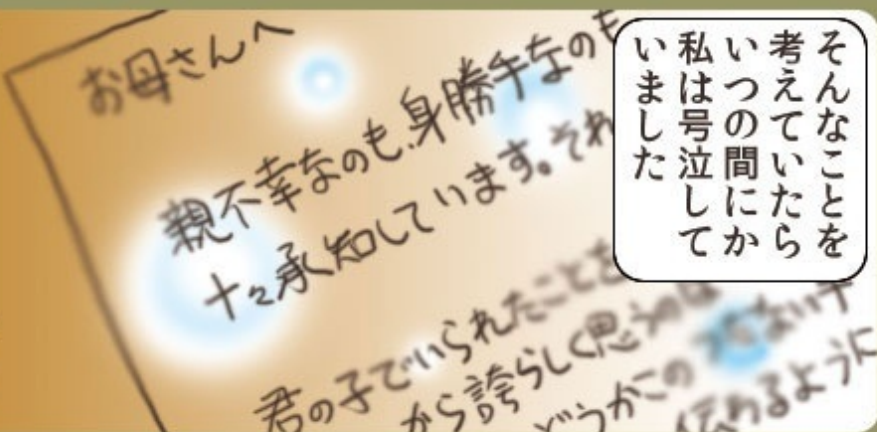
きつと母は泣きくれるだろう

そして親より先に死ぬことが親不孝とわかつていても私はきつと母に泣いてほしいんだらうなと



そんなことを考えていたらいつの間にか私は号泣してしまいました

「もしもの手紙」一つから私は自分の身勝手さとお母さんへの信頼と甘えを実感しました





# 瓶。ムネの

私は洗剤は断然詰め替えるタイプです

最近では少量で十分に効果がある洗剤があつたりで

買った物も楽になつてきましたね



コンパクトで荷物がへるよ!

基本常備しているものは洗剤・柔軟剤・汚れ落としに特化した洗剤

この三つを普段使っていますが



内一つは容器と詰め替えのサイズが合わないため

詰め切りきらなかった洗剤は別の瓶に入れていきます

実はこの瓶でラムネの瓶で以前お友達がお土産に持ってきてくれたものでした



課題

しなから飲もう!!

もちろん中身は既に飲んでしまいましたが瓶は数回使った今でも洗剤の容器として健在です



その友達はとてもやさしい人間で

「優しい人」とは彼女の何を言うのだろうなと

ゴウゴウ...

彼女が生きているうちは

優しさはきつと絶滅しないね。

洗濯の度にしみじみするのがあります







# 私だけ ですか？

事件は  
スーパーに  
買った物に  
行つた帰りに  
おこりました

帰り道  
信号待ちを  
していた私の  
目にあるもの  
が止まりました

それは  
私の目の前の  
女性のカバンに  
ついていたので  
金具だったのですが

その時は  
なぜか  
「カバンに何か  
ついてる意識に  
なつていて

「金具」とか  
「飾り」とか  
いう発想が  
なかったのです

その結果…

あの人  
ナツクル  
持つてる!?

本気で  
そう思っ  
てました。

そして金具と  
いうことに  
気づくまで…

護身？  
護身用なの？

っていうか  
ゴールドの  
ナツクルとか…

ここまで  
堂々と  
持つてたら  
もはや護身と  
いうより…

威嚇だ！

誰か同じ  
状況になつ  
てくださ  
い。

きいて  
私と同じ  
思いを  
思つた  
です。



# 衝撃の キウイ。

先日スーパーで  
キウイを久々に  
買いました

五個入り  
一皿六四〇円と  
お高い気も  
したのですが…

その時は  
なぜか買って  
しまいました



普段果物を  
あまり買わない  
私ですが…

買っても  
バナナとか  
どまりの  
私でしたが…

今回買ったのは  
CMとかも  
していた  
黄色いキウイ  
だったのです



しかし突発的な  
購入だったため  
黄色いことに  
切るまでは  
気づきません  
でしたし…

甘さも  
食べるまで  
期待して  
いませんでした

ですが…



甘い！

何この  
甘さ！

すっぱくも  
ない！

ウマー！

さすが  
CMするだけ  
あるねー

衝動買いの  
六四〇円が  
まさかの  
衝撃の  
美味しさでした

気が向き  
ましたら  
ぜひ試して  
みてくださいね



これって  
ステマ？

うまかった  
よー！



# 鏡の向こうに 人造人間。

先日  
あるアルバイトを  
してまいりました  
そこでは  
衛生関係上  
髪の毛を  
キヤップに  
全部しまいます



最初は  
ちよつぴり  
恥ずかしかった  
ですが

周囲が  
普通に着けて  
いたので  
すぐ慣れました



なんだか  
小学校の  
給食当番を  
思い出しました

作業を終えて  
休憩時間

キヤップを  
とってトイレに  
いくと...



額に  
キヤップの  
跡が残って  
いました

...フランケン  
フランケンだ!



自分の変身に  
しばし興奮

それ以来  
キヤップを  
とった後は  
つい鏡を  
見てしまいます

えへ♪  
私人外だわ

今日はね。 vol.2

<http://p.booklog.jp/book/51372>

著者：童

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hagurumawarashi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/51372>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/51372>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ